

**【エバスチン OD 錠 10mg 「ケミファ」】
溶出試験に関する資料（処方変更品）**

日本ケミファ株式会社

● 目的

エバスチンOD錠 10mg「ケミファ」の処方変更に係る承認事項一部変更承認申請に際し、旧処方製剤との溶出挙動の同等性を評価した。*

※経口固形製剤の処方変更の生物学的同等性試験ガイドラインに準拠

● 使用製剤

試験製剤：エバスチン OD 錠 10mg「ケミファ」（新処方）

標準製剤：エバスチン OD 錠 10mg「ケミファ」（旧処方）

● 試験条件

溶出試験法：パドル法

試験液：50rpm ①pH1.2 ②pH4.0 ③pH6.8 ④水
100rpm ⑤pH4.0

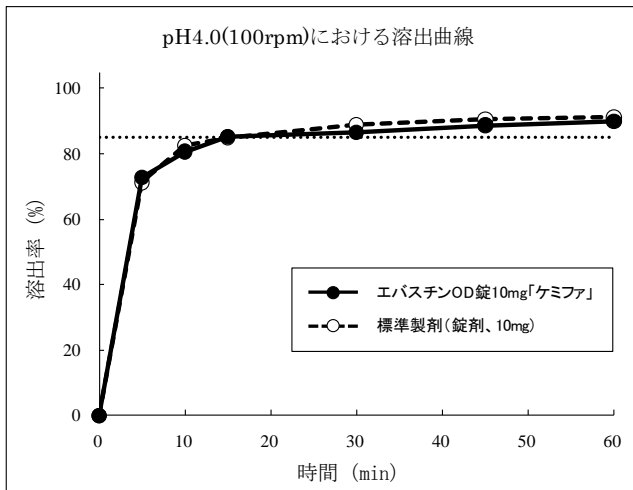
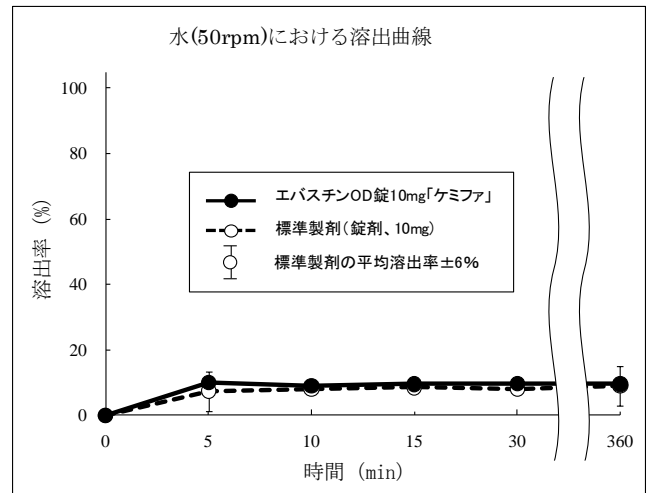
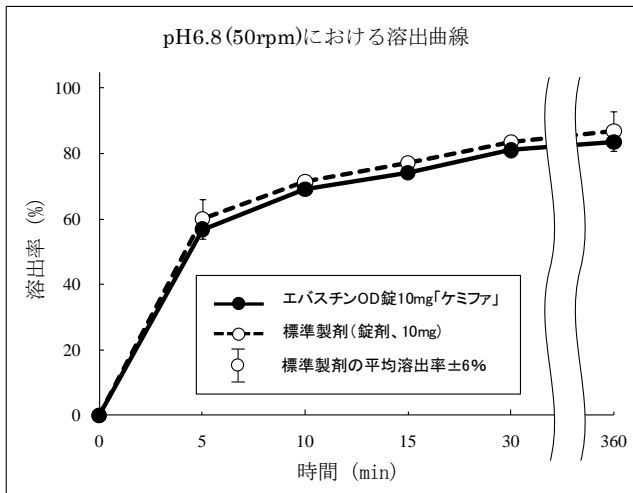
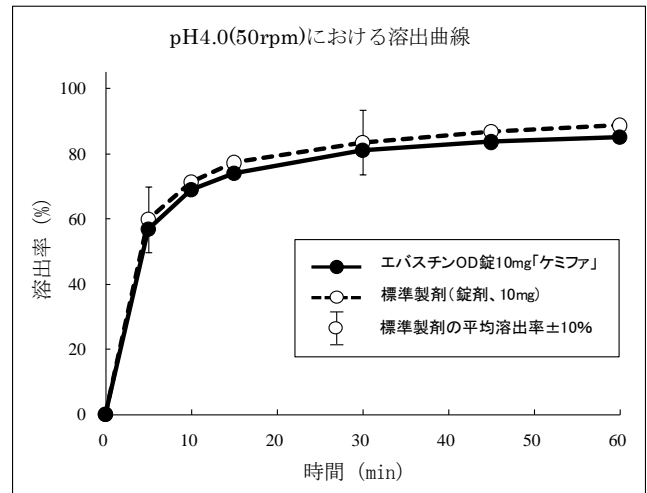
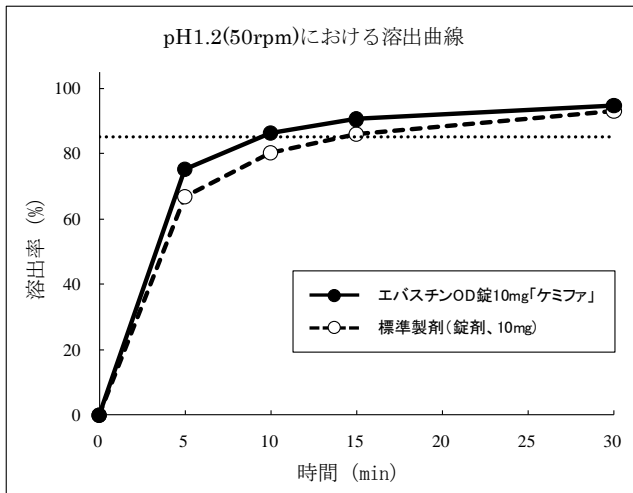
検体数：各製剤ともに12ベッセル

測定：液体クロマトグラフィー

● 結果

(1) 平均溶出率

試験液	回転数 (rpm)	判定時点 (分)	溶出率(%)			判定基準	判定	
			試験製剤	標準製剤	差			
pH1.2	50	15	90.5	86.0	4.5	15分以内に平均85%以上溶出する	適合	
pH4.0		5	56.8	59.9	-3.1	試験製剤の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±10%の範囲にある	適合	
		30	81.0	83.5	-2.5			
pH6.8		5	3.9	4.8	-0.9	試験製剤の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±6%の範囲にある	適合	
		360	4.7	4.8	-0.1			
水		5	10.0	7.4	2.6	試験製剤の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±6%の範囲にある	適合	
		360	9.5	8.9	0.6			
pH4.0		100	15	85.2	85.0	0.2	15分以内に平均85%以上溶出する	適合



(2) 個々の溶出率

試験液	回転数 (rpm)	判定時点 (分)	標準製剤 平均値 (%)	試験製剤 (%)				判定基準	判定
				平均値	最大値	最小値	最大差		
pH1.2	50	15	86.0	90.5	93.9	86.7	3.8	注 1	適合
pH4.0		30	83.5	81.0	82.5	78.4	2.6	注 1	適合
pH6.8		360	4.8	4.7	7.1	3.2	2.4	注 2	適合
水		360	8.9	9.5	11.0	7.8	1.7	注 2	適合
pH4.0	100	15	85.0	85.2	89.5	81.7	4.3	注 1	適合

注 1： 標準製剤の平均溶出率が 85%以上に達するとき、試験製剤の平均溶出率±15%の範囲を超えるものが 12 個中 1 個以下で、±25%の範囲を超えるものがない。

注 2： 標準製剤の平均溶出率が 50%に達しないとき、試験製剤の平均溶出率±9%の範囲を超えるものが 12 個中 1 個以下で、±15%の範囲を超えるものがない。

● 結論

すべての試験液において溶出挙動の同等性判定基準を満たし、両製剤は、製剤学的に同等性を有することが確認された。

以上